

令和5年度 第11回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和6年2月15日 午前10時00分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第11回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和6年2月15日（木） 午前10時～11時20分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所4階402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大谷奈雅子 教育部長

大砂正則 次長兼教育総務課長

小池信仁 こども未来課長

水口恵子 社会教育文化財課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

梶原昭一 人権推進課長

小河秀義 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

岡内由里 こども未来課長（指導担当）

西林文隆 次長兼施設整備課長

前田裕作 まちづくり推進課副課長

岩本浩二 教育総務課副課長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、片山委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和5年度第10回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の会議録について、大砂次長兼教育総務課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

次の4点について、中田教育長が報告した。

（1） 調停案の受諾に係る教育長専決について

教育委員会の元会計年度任用職員が、本市を相手方として裁判所へ行った労働審判手続申立てについて、労働審判委員会より調停案が提示され、これを受諾するには議会の議決が必

要であり、急を要するものであったため、臨時代理により教育委員会の意見を回答した。

この調停案は、1月24日の市議会の臨時議会に議案として提出され即日議決された。

(2) 3月議会に上程する条例・補正予算、6年度当初予算案等について

3月議会に上程する条例・補正予算、6年度当初予算案等について、後ほど各担当より説明する。

(3) 山崎南中学校学校規模適正化に向けた対応について

2月9日に地区協議会を開催し、校章等について協議した。後ほど担当より説明する。

(4) 令和5年度卒業式、卒園式、令和6年度入学式について

日程と出席者を後ほど担当より報告する。年度末・年度初めの多忙な時期だが、出席についてお願いする。

6 議事

議事に入る前に、中田教育長から、第17号議案から第23号議案までについては、意思形成の中立性の観点等から非公開としたい旨の説明があり、委員全員「異議なし」であったため、非公開審議と決定した。なお、第17号議案から第23号議案までの審議は、「7 協議報告事項」の終了後、行うこととした。

第24号議案 宍粟市通学バス運行管理規則の一部を改正する規則について

資料41～46Pにより、神野小学校区の遠距離通学対策を実施するにあたり、運行対象地区を定めるための規則改正を行うことについて、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

審議の結果、第24号議案は、提案どおり可決した。

第25号議案 宍粟市立学校管理規則の一部を改正する規則について

資料47～48Pにより、令和6年4月1日から一宮南中学校とはりま一宮小学校を「併設型小中一貫校」として設立するにあたり規則改正を行うことについて、大砂次長兼教育総務課長及び中田学校教育課長が説明した。

審議の結果、第25号議案は、提案どおり可決した。

第26号議案 宍粟市スポーツ推進委員規則等の廃止について

資料49～50Pにより、昨年の12月議会で「宍粟市教育委員会の職務権限の特例に属する条例」が制定され、令和6年4月1日以降、教育委員会の権限に属する事務のうち、学校における体育以外のスポーツに関する事務を市長部局へ移管することに伴い、教育委員会規則等を廃止することについて、大砂次長兼教育総務課長及び前田まちづくり推進課副課長が説明した。

審議の結果、第26号議案は、提案どおり可決した。

第27号議案 令和6年度「宍粟の教育」について

資料51～63Pにより、令和6年度「宍粟の教育」の作成について、大砂次長兼教育総務課長、中田学校教育課長及び水口社会教育文化財課長が説明した。

審議の結果、第27号議案は、提案どおり可決した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(中田教育長)

「宍粟の教育」について今後のスケジュールはどうなっているのか。

(中田学校教育課長)

本日の承認後、最終校正を行い、教育委員会内での決裁後、業者へ原稿を提出する。

(中田教育長)

「宍粟の教育」について、今後もこのような形で作成していくのか。

(大砂次長兼教育総務課長)

次年度の教育委員会の方針として、例年この時期に作成し提案しているが、作成方法や冊子そのものの見直しについて議論している。令和6年度については、従来の方針で提案している。

(中田教育長)

編集会議も開催されたうえで毎回この教育委員会に諮るのは労力がかかるかと思う。教育委員会に諮るタイミングや方法については見直してよいかと思うので、来年度に向けて引き続き検討を進めてほしい。

(大谷部長)

検討を進める。

7 協議報告事項

(1) 山崎南中学校区 学校規模適正化推進状況について

当日配布資料により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

(2) 令和5年度卒業（卒園）式、令和6年度入学式について

資料1【64～66P】により、中田学校教育課長が説明した。

(3) 宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について（令和5年度8月～12月）

資料2【67～69P】により、中田学校教育課長が説明した。

(4) 宍粟市学校給食費条例施行規則の一部改正について

資料3【70～71P】により、大北山崎学校給食センター所長が説明した。

(5) その他

・ 調停の成立について

追加資料2により、小池こども未来課長が説明した。

・閉園式、閉所式について

口頭により、3月21日に山崎幼稚園及び城下幼稚園の閉園式を、3月26日に城東保育所の閉所式を開催することについて、大谷部長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

いじめ事案について昨年と比較すると、コロナの影響が少なくなったこともあってか、いじめの認知数がかなり増えている。そのなかで、68ページの3の児童生徒からの訴えによる認知の割合が昨年度は約20%で今年度は40%を超えている。これは本人が嫌と感じたことは嫌と言えている、そういった意味でよい傾向にあるかと思う。

引き続き、いじめ問題については丁寧な対応を続けてもらいたい。

● 非公開議事

「6 議事」の第17号議案から第23号議案までの審議に入る。

第17号議案 令和5年度 宍粟市一般会計3月補正予算（教育委員会関係）案について

[Redacted content]

第18号議案 令和6年度 宍粟市一般会計当初予算（教育委員会関係）案について

[Redacted content]

第19号議案 宍粟市立学校設置条例の一部を改正する条例案について

[Redacted content]

第20号議案 宍粟市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例案について

[Redacted content]

第21号議案 宍粟市立総合教育センター条例の制定案について

第22号議案 宍粟市立保育所条例の一部を改正する条例案について

第23号議案 宍粟市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案について

委員の主な意見及び事務局の説明

(金本委員)

11ページの学校看護師の配置事業について、児童・生徒が授業を受けている間はずっと関わってくれるのか。

(中田学校教育課長)

看護師が学校にいる間はずっと関わってくれている。保護者の方や担任等も含めて、分担してサポートしている。

(金本委員)

同じく11ページの不登校対策に関連して、学校等に子どもの居場所をつくることを計画されているが、宍粟市ではフリースクール等が設置される計画等はないか。

(中田学校教育課長)

市内にフリースクール等が設置されるという計画等は聞いていない。

(金本委員)

学校の授業には出席できていないが学校に教室以外の居場所があるから、毎日学校に通えており、自分の好きな授業には出席できているとの話を聞いたことがある。教室以外でそういった居場所があって、少しでも不登校がなくなればよいと思うので、取組を進めてもらいたい。

(中田学校教育課長)

宍粟市では、教育支援センターや学校サポートチームが、学校と連携しながら、丁寧に関わり持っている。引き続き、不登校や学校に行きづらい児童・生徒の支援を行っていきたい。

(片山委員)

不登校だった児童が陶芸に興味を持ち、陶芸教室に参加したことがきっかけで、外出する意欲がわき、学校に少しずつ行けるようになったとの話を聞いた。学校ではないがそれに準ずる場所として子どもの居場所になった事例かと思う。フリースクールは宍粟市にはないが、すでに実施されている教室や講座など、いろいろなものを活用することで、よいきっかけになればと思う。

(金本委員)

13ページの3の①について、民間と公立の職員が合同研修を行い資質の向上を図るとあるが、年間どれぐらいの頻度で開催されているのか。

(岡内こども未来課長)

幼児教育支援事業は今年度から始めた事業で、河東幼稚園を研究園に指定し、公開保育を2回行った。民間・公立の職員のほか、連携校である河東小学校と神野小学校の校長や1年生の担任にも参加してもらい、公開保育を見た後、研究協議を行った。

あわせて、幼児教育支援委員会という会議を5月・6月・11月と計3回開催している。会議の中では、民間・公立関係なく同じ教育や保育が受けられるよう教職員の質の向上を図ることを目的に、大学教授から指導助言を受けながら、研究協議を行った。

年度末までに、研究協議の成果をまとめたリーフレットを作成する予定である。

(金本委員)

ちくさ杉の子こども園が開設して10年を経過しており、あらためて教職員に研修してもらう機会があればと思う。千種だけではないが、民間の教職員も含めて、こういった研修の取組を引き続き進めてもらいたい。

(岡内課長)

ちくさ杉の子こども園では年2回、大学教授を招いて公開保育を実施されており、市も年1回は参加している。また、今年度に開園した宍粟わかばこども園でも、こども園ウイーク期間中を利用し公開保育を実施されており、その際も、他の園所に案内され、公開保育後に研究協議を行っている。

令和6年度についても積極的に合同研修を進めていきたいと考えている。

8 次回会議の招集について

令和6年3月15日(金)午前9時30分から、市役所4階402・403会議室において、令和5年度第12回宍粟市教育委員会を開催することとした。

9 閉会

片山委員が閉会した。